

1. 調査目的

この調査は、市政に関する市民の考え方を把握し、今後の市政運営の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査項目

この調査の調査項目は以下の7項目である。

(1) 属性について

性別、年齢、職業、家族構成、住宅状況、居住年数

(2) 小型家電の排出方法について

小型家電回収ボックスの利用経験、小型家電回収ボックスを利用していない理由、小型家電回収ボックスを設置してほしい場所、宅配便回収事業者による回収の利用経験、宅配便回収事業者による回収を利用していない理由、個人情報を含む小型家電の処分方法

(3) 「救急安心センターおおさか」について

「救急安心センターおおさか」の認知と利用経験、「救急安心センターおおさか」の利用方法の認知、「救急安心センターおおさか」の認知経路、「救急安心センターおおさか」の利用場面、「救急安心センターおおさか」がなかったときの対応

(4) 生活施設の利用環境について

生活施設の利用場所、生活施設への交通手段、最寄の鉄道駅周辺にできてほしい施設、市内の中心駅周辺にできてほしい施設

(5) 市民活動と東大阪市への居留意向について

自治会への加入有無、参加したことのある市民活動、地域の市民活動の印象、地域の市民活動の満足度、東大阪市への居留意向

(6) 住まい・住生活について

東大阪市に住んでいる理由、住みかえる場合の住宅タイプ、住まいを選ぶ時の重視点、東大阪市の住みやすさ、力を入れてほしい住宅政策

(7) 読書について

先月読んだ本の数、本を読んだ場所、図書館の利用頻度、子どもころの読み聞かせ経験、子ども読書活動促進のために必要だと思うこと

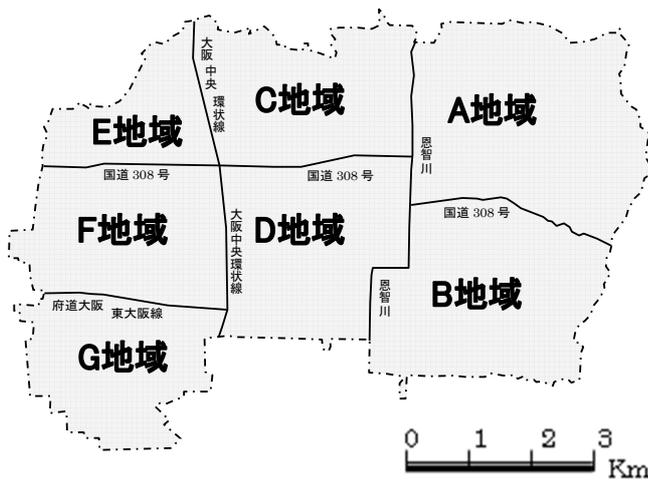
3. 調査設計

- (1) 調査地域 東大阪市内
- (2) 調査対象 市内全域在住の満 18 歳以上の市民
- (3) 標本数 2,715 人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳による等間隔抽出法
- (5) 調査方法 郵送調査法（督促状 1 回発送）
- (6) 調査期間 平成 29 年 7 月 19 日（水）～平成 29 年 8 月 4 日（金）

4. 回収結果

- (1) 配布数 2,715 票（100.0%）
- (2) 回収数 1,517 票（55.9%）
- (3) 有効回収数 1,514 票（55.8%）

5. 地域別回収結果



	配布数	有効回収数	有効回収率
A地域	312	182	58.3%
B地域	361	223	61.8%
C地域	346	186	53.8%
D地域	529	288	54.4%
E地域	187	101	54.0%
F地域	546	306	56.0%
G地域	434	228	52.5%
合計	2,715	1,514	55.8%

6. 報告書の見方

- (1) 集計結果は、小数点第 2 位を四捨五入しており、表記値と計算値との演算誤差が生じることがあるため、回答比率の合計が 100.0% とならないことがある。
- (2) 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が 100.0% を超える場合がある。
- (3) 比率 (%) は、その回収数を母数として算出している。
- (4) 各質問の回収数は (N=) として示している。
- (5) 数値に関する記述は下記の基準にしたがっている。

- 例：約 3 割 30.0～30.9
- 3 割強 31.0～34.4
- 3 割半 34.5～36.0
- 4 割弱 36.1～39.9